

<< 國學院大學・公開研究会 2018年2/27(火) >>

カール・ポラニーと社会連帯経済

■日時：2月27日(火) 13:30～18:00

■場所：國學院大学渋谷キャンパス 120周年記念2号館 1階 2102教室

■参加費無料

■<プログラム> (総合司会) 古沢 広祐(國學院大学経済学部教授)

第I部：13:30-15:30 (40分×3報告)

報告1「カール・ポラニーの市場社会観と社会改革思想」

若森 みどり(大阪市立大学教授)

報告2「カール・ポラニーによる『制度化された過程としての経済』と自然に関する一考察」

室井 遙(東京大学大学院総合文化研究科博士課程)

報告3「『埋め込まれた経済』としての資本主義：K.ポラニーからI.ウォーラースティンへ」

中馬 祥子(國學院大学経済学部教授)

第II部：15:45-18:00(20分×2コメントの後、16:25より総合討論)

コメント1「進化経済学からみたK.ポラニーとK.マルクス」

西部 忠(専修大学教授)

コメント2「K.マルクスからみた社会連帯経済とK.ポラニー」

伊藤 誠(東京大学 名誉教授)

総合討論

(主催)「資本主義再考」研究会、國學院大学経済学部共同研究グループ



資本主義経済の変革へ向かう

可能性とは何か？

協同組合、共同体企業、非営利団体による地域社会からの連帯経済活動など、社会連帯経済に向けた取り組みが世界的な関心を集めています。ポラニーの思想と理論の基本とその現代的意義について、理解を深めて行きます。

(出典：カール・ポラニー政治経済研究所)